

屋根改修工事

落慶法要にご参加を

4月29日、慈光寺本堂で挙行

檀家のみなさんが、等しく待ちこがれていた慈光寺本堂と庫裏の屋根改修工事が、2月末に完成しました。その落成を祝って、四月二十九日、午前十時から落慶法要と祝賀会が行われます。主催者側では、多数のご参加を期待しています。

本堂、庫裏は寛政年間

慈光寺の本堂、庫裏は、寛政年中に建てられた市内最古の木造建築物です。茅で葺かれた屋根の寿命は、長くて30年程度といわれています。ですから、二〇〇有余年の間、その都度檀家が持ち寄った茅と勞力奉仕によって葺き替えられ維持されて来たわけです。

時代が新しくなり、社会の変化によって、茅ぶきの屋根が少なくなりました。

地域における住宅の建築様式は、急激に変化して行きました。

それと共に、取人も減り、茅の入手も難しくなってきました。さういうわけで、

最後に茅で葺かれたのは、昭和三〇年のことでした。

昭和三六年には、茅の屋根を長もちさせるために、茅をトタンで覆う工法で改修が行われました。

茅をトタンで包んだ屋根は、約35年間風雪に耐えて来たわけです。

ご挨拶 副住 高谷勉行

この度、念願の本堂庫裏屋根改修が成り、落慶式を迎えることができました。これは、備えに檀家各位の慈光寺護持に対する深いご理解とお力添えの賜であり、心よりお礼申し上げます。

これまでの屋根は、勾配がきついため、五、六年毎の塗装手入れを必要としました。その上、葺き替え後約三五年を経過し、随所に錆、破損が見られ、抜本的改修は焦眉の急務でありました。役員諸氏には、早期実現に向かって真

剣に取り組んでいただきましたが、多額の資金捻出は難中の難、全く途方に暮れるばかりではありません。

しかし、はからずも一昨行われた位牌堂建立事業が、多くの檀信徒各位の協力によって達成され、しかも、屋根改修を賄える剰余金が生み出されたことは既に報告致したところでございます。

今、この大事業を終え、歴代和尚、先祖の靈に御照覽あれと報告できますことは、感慨無量であります。ほんとうにありがとうございました。

＊ 屋根の改修で ＊ ＊ ＊ ＊

＊ 本堂 庫裏の ＊ ＊ ＊ ＊

＊ 寿命は増殖する ＊ ＊ ＊ ＊

茅のトタンで包んだ屋根は、施工当時は、50年以上はもつということでしたが、屋根勾配がきついため、五、六年毎に塗装が必要であったり、また近年トタンに錆が出たり、茅を固定する仕掛けの緩みなども目立ち、最近になって、屋根の抜本的改修は急を要する課題となって

いました。幸い位牌堂の建設は、檀家のみなさんのご協力によって、立派に実現し、しか

これによって、昨年10月中旬、着工し、本年2月末に完成の運びとなったわけで、まさに、平成の大改修ともいふべきこの事業の完成を、檀信徒こそぞ、慶び合いたいと思います。



落慶法要への御臨席

県内9寺、県外16寺から

落慶法要には、時宗本山から、宗務長の秋庭僧正がご来臨されます。さらに、県外の門中寺院16寺、県内9寺からご臨席をいただきますことになっており、位牌堂の落慶式に匹敵する規模となります。

4月29日の落慶法要ならびに祝賀会は、次のような日程で行われます。

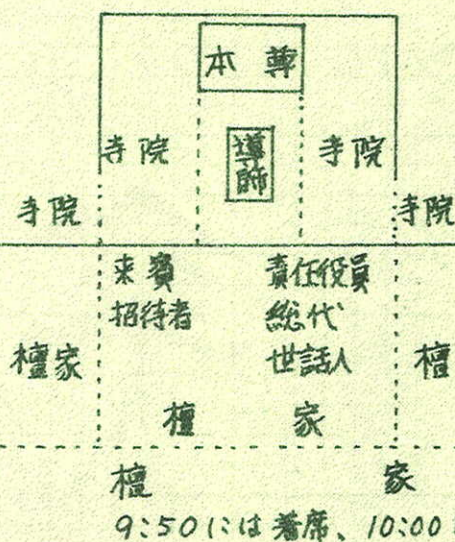
落慶法要

受付 九時から(庫裏玄関にて)

控室

- 1、寺院 庫裏奥向
- 2、来賓・招待者 本堂裏
- 3、役員 庫裏客間
- 4、祝賀会参加者 本堂

座席



式次第

(10時開式)

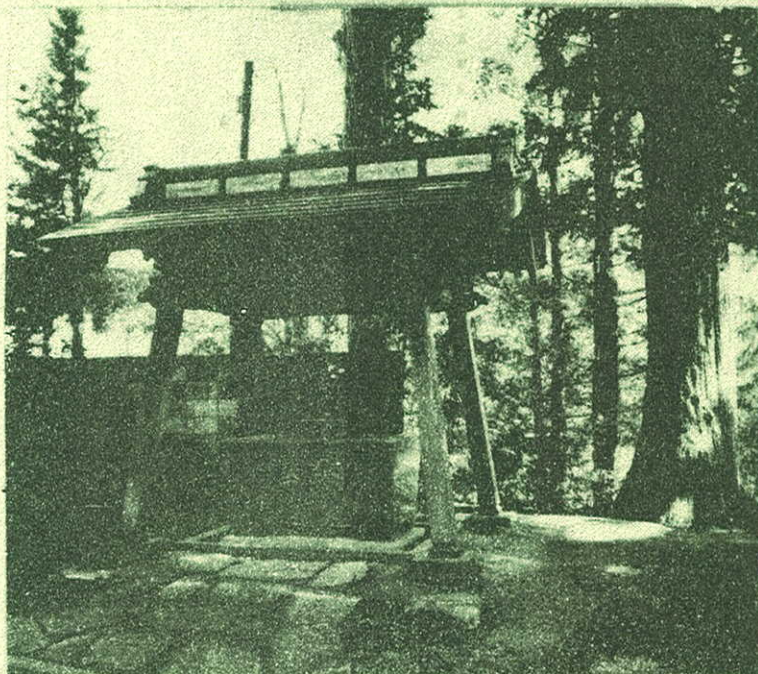
- 1、開式の辞
- 2、読経
- 3、住取あいさつ
- 4、実行委員長挨拶並に工事経過報告
- 5、工事協力者表彰
- 6、祝辞
- 7、閉式の辞

閉式後、本堂前庭で、お祝いの餅まきを行います。

祝賀会次第

- 1、開会の辞
- 2、住取あいさつ
- 3、祝辞
- 4、随喜寺院、来賓、招待者紹介
- 5、乾杯 (懇親)

慈光寺百景 ③



お水屋

四八段の石段を上り切った所、山門の手前にお水屋。静けさが包む境内の中でも、ひとときわ静かな一角である。参拝する人々が、ここのお水で、手を洗い、口をすすぐ——その行儀を通して身も心も清々しくきよめて弥陀の前に立つのである。一〇数年前、信徒の寄進により建立。

春彼岸法要盛大に 一七〇人で百万遍念仏

恒例の春彼岸法要は、はるる3月20日正午から慈光寺本堂で盛大に行われました。

祝賀会は、正午から、本堂で行われます。落慶法要終了後、餅まき、会場準備等で若干の時間が必要ですが、雨天の際には、予定の変更も考えられますので、現地での係の指示に従ってください。

披露ご進寄

山門軒先垂木の銅板飾り工事
東 忠一氏(生田町)
春彼岸用お料理づくり作業
中田、田子内、新町地区
有志さま

今年も、例年にも増して参加者が多く、本堂がいっぱいになるほどの盛況でした。一七〇人を超える参加者による百万遍念仏は、本堂内にこたまして壮観なものでした。懇親会では、新町婦人会の人々による踊りが好評でした。